

イオンモール福津で小学生考案の料理作品展示 地域食材活用、弁当販売会も

福津市 イオンモール福津



パネル展示 (昨年の様子)



福津市の小学生が考案した「地元食材を使った料理作品」の展示が11月16日、イオンモール福津（福津市日蔭野6）で始まる。

📷 弁当販売 (昨年の様子)

子どもたちに健康的な食生活を意識し実践する力を身につけてもらおうと福津市が行っている「福津のめぐみで料理名人」事業の一環。小学生が福津市で取れた食材を使って自ら料理することで、地産地消への理解を深め、食に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。作る料理によってチャレンジ級を設定しており、応募者全員に福津市子育て世代包括支援課が認定証を発行する。

同課保健指導係の丸山康子さんは「この取り組みは、福岡女子大学、イオンモール福津、福津いいざいなどのさまざまな団体と連携、共働で進めている。夏休みの自由選択課題の一つとして取り組んでおり、令和5年度は1101人、令和6年度は1303人の応募があった。子どもたちが料理を作るきっかけになると同時に、生産農家の励みにもなっている。子どもには料理をしながらバランスの良い食事を知ってほしい」と話す。

福津のめぐみで料理名人

令和6年11月15日の宗像経済新聞に、展示に先立ち、紹介記事を掲載していただきました（展示の写真は、令和5年度実施分）

展示期間：令和6年11月16日（土）～
令和6年11月24日（日）

お弁当販売：令和6年11月24日（日）

場所：イオンモール福津センターコート

福津のめぐみで料理名人実施概要

- 応募総数：1,303人
- 名人認定：18人（すべての級にチャレンジした児童）
- お弁当販売：6名180食

お弁当プロジェクトは、イオンモール福津、福津いいざい、福津いいざいより依頼の市内事業者のご協力により、実現できたものです。

「福津いいざい」の同事業担当者、大中義則さんは「今年は『となりのグリル』『餃子の山八』『ネオラマート』『marutani』『オーシャンズ』『カナダキッチン』の6事業者に子どもたちのアイデアを具体的に表現していただいた。食育と併わせ、地元の事業者や生産者とのパイプ役となることで子どもたちに地域食材の良さを伝えたい」と話す。

展示は11月24日まで。

[地図を見る](#)



実際に販売した弁当 (昨年の様子)
関連画像



今年の展示物を持つ丸山康子さん (右)
関連画像